

- 問1 宮崎県において、きゅうりなどの生産にビニールハウスなどの施設を用いた農業が積極的に行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|---|---|
| 1. 土地の傾斜を活かして、機械による大規模な農作業を効率化するため | 2. 大都市の近郊という立地を活かして、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を届けるため | 3. 冷涼な気候を利用して、他の地域が収穫を終えた後の時期に出荷を遅らせるため | 4. 他の地域からの出荷が少なく、市場での取引価格が高い時期に合わせ出荷を行うため |
|------------------------------------|--|---|---|
- 問2 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。 (2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 1. まだい | 2. かつお | 3. ほたてがい | 4. さけ |
|--------|--------|----------|-------|
- 問3 九州地方の各県について述べた統計資料において、地熱発電量が「879」と他の県に比べて突出して高く、人口密度が約181.7人/km²である県に該当するものとして、最も適切なものを選択してください。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大分県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問4 日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 北海道 | 3. 沖縄県 | 4. 岐阜県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. シラス台地などの広大な土地を利用して、豚や肉用牛などの畜産業が盛んに行われており、特に豚の飼育頭数は全国第一位である。また、茶の生産量も非常に多い。 | 2. 温暖な気候とビニールハウスなどの設備を活かした施設園芸農業が盛んで、ピーマンやナスなどの冬野菜の出荷額が全国トップクラスである。 | 3. 広大な砂丘の地形を活かして、スプリングラーを用いた大規模なかんがい施設を整備し、らっきょうやメロンの栽培を主に行っている。 | 4. 平坦な土地と豊かな水源を活かした稲作が中心であり、秋田県や山形県を抑えて米の生産量が全国で最も多い。 |
|---|---|--|---|
- 問6 九州地方の自然環境と地域的特色について述べた文として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 平坦な低地が多く広がっているため、大規模な小麦の単作地帯となっています。 | 2. 九州地方南部には保水力の高い台地が広がるため、稲作を中心に盛んに行われています。 | 3. 火山が多く存在する自然環境を活かして、地熱発電所が多く建設されています。 | 4. 急峻な河川が多い地形を活かして、全国で最も水力発電の割合が高くなっています。 |
|---|---|---|---|
- 問7 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。 | 2. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。 | 3. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。 | 4. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。 |
|--|---|---|--|
- 問8 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
| 1. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。 | 2. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。 | 3. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。 | 4. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|--|
- 問9 九州地方の北西に位置し、朝鮮半島との最短距離にあることから、歴史的に大陸との外交や貿易の中継地となってきた島があります。鎌倉時代に元軍が日本へ侵攻した際にも、その地理的条件から最初の攻撃対象となったこの島の名称は何ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 隠岐 | 2. 対馬 | 3. 五島列島 | 4. 佐渡 |
|-------|-------|---------|-------|
- 問10 熊本県に位置する阿蘇山に見られる、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して形成された大きなくぼんだ地形を何といいますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|----------|---------|
| 1. 扇状地 | 2. 三角州 | 3. シラス台地 | 4. カルデラ |
|--------|--------|----------|---------|
- 問11 九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。 | 2. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。 | 3. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。 | 4. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。 |
|---|---|---|--|
- 問12 九州地方北部に位置する筑紫平野では、夏に米を、冬に麦を栽培するといったように、同じ耕地で一年のうちに二種類の異なる作物を栽培する農業が行われています。このような栽培方法を何といいますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 二期作 | 2. 促成栽培 | 3. 二毛作 | 4. 抑制栽培 |
|--------|---------|--------|---------|
- 問13 九州南部の宮崎県や鹿児島県では、農業産出額の約6割を畜産が占めています。このように、この地域で豚や肉用牛、鶏などの飼育が盛んになった地理的理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. シラス台地は栄養分が豊富な土壌であり、家畜の餌となるトウモロコシや小麦の生産が国内で最も盛んに行われたため。 | 2. 温暖な気候を利用して年に2回米を収穫する二期作が衰退し、その跡地をすべて牧草地に転換したため。 | 3. 火山灰を主成分とするシラス台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に適さなかったため、広大な土地を利用できる畜産が行われるようになった。 | 4. 海岸沿いに広がる平坦な埋立地を利用して、海外から輸入した飼料を直接加工する大規模な工場と農場が直結しているため。 |
|---|--|---|---|